

— 動き出したダイバーシティの取組み —

女子社員発案の働き方改革がJATA会長表彰「大賞」 日本旅行ソリューション営業本部 「PJ☆SOL」の取り組み

「2018年働き方・休み方改革、ダイバーシティ推進に関するJATA会長表彰」の「働き方・休み方改革部門」で、日本旅行ソリューション営業本部における、女子社員による働き方改革の取り組みが大賞を受賞しました。今号と次号の2回にわたり、同社のチーム「PJ☆SOL」(ピージェイソル)による取り組みを紹介します。

人材の活用などを実現することを目指して、今年から「JATA会長表彰」の対象としています。

働き方・休み方改革やダイバーシティ推進の普及啓発を目指すという観点からスタートした表彰制度であることから、1回目となる今年には応募した全12社13件に賞が授与され、その中で日本旅行の「女性社員を中心メンバーとしたPJ☆SOL活動」が大賞に輝きました。

昼食時に本音の「お喋り会」

働き方改革の推進は近年、国を挙げて取り組む課題となっており、旅行業界でもその推進の必要性が認識されてきていることから、JATAでは、会員各社の優れた取り組み事例を広く周知し、業界全体として長時間労働や過重労働の是正を通じた有給休暇の取得促進、女性や高齢者を含む多様な

日本旅行の矢田部修一執行役員ソリューション営業本部長によると、同社では早くから女性社員が働きやすい環境を整備するため、様々な制度が導入されていたものの、「必ずしも、十分に活用されている状況ではなかった」ため、事態の打開を図らなければと頭を悩ませていたといいます。

そうした時に、同社ソリューション営業本部の女性社員から「女性社員がイキイキと活躍できる環境づくりを、どうしたら実現できるか知恵を出し合う場を設けたい」と相談を受け、2015年9月に同営業本部の女性社員同士が本音で語り合う「イキイキお喋り会」が発足しました。



矢田部修一本部長(右)とCSプランニングチーム鈴木志保チーフクリエーター

この「お喋り会」には、社内各部署から女性社員の有志が自由に参加。子育てによる時短勤務を行っている社員の実情や、若手女性営業社員の将来におけるライフワークバランス、経験を積

んできたベテラン社員なりの悩みなどをざっくばらんに語り合い、それぞれの女性社員が抱えている問題や疑問などを共有する場としてスタートしています。

第1回の「お喋り会」で会の名称をPJ☆SOLに決定し、2カ月に1度のペースで昼食時間を利用してミーティングを実施。鈴木チーフクリエーターによると、「PJ☆SOLは、プロジェクト・ソリューションのアルファベットの略」で、☆には「女性社員がキラリと輝くことを願う」という意味が込められています。

女性社員の認識共有が会社全体の課題解決につながる

「お喋り会」への参加を女性社員に呼びかけた矢田部本部長は、「ソリューション営業本部でも女性スタッフに頼る



スタートから間もなく3年を迎えるPJ☆SOLのミーティング

ところが大きいと常々実感しており、ストレスフリーで仕事に取り組んでもらうと同時に、将来のビジョンを持ってイキイキと働いてほしいと考えたと振り返ります。

矢田部本部長が主催する会という「敷居の高さ」にも関わらず、当初から多くの女性社員が積極的に参加。「お昼の時間を活用し、会議室でランチを取っているような業者の弁当を食べ比べたり、ホテルインスペクションを兼ねて、レストランでの会食形式をとったり、お喋りだけでなくランチも楽しめるという設定も、女性社員の参加を促す結果につながったかもしれない(矢田部本部長)。一定の成果を挙げてきている背景には、上司による柔軟な発想や対応が功を奏しているといえそうです。

PJ☆SOLのミーティング後には毎回、開催報告(議事録)と、本部長メッセージを配信して、参加できなかった女性社員にもミーティングの内容を共有してもらう努力も重ねてきています。

矢田部本部長は、「ミーティングを通じて女性社員が課題認識を共有することが、会社全体としても課題解決のヒント探しにつながっており、社員が皆で知恵を出し合うことでより良い会社を実現していくという機運醸成に、PJ☆SOLが一定の役割を果たしていると思う」と説明しています。

(次号では、PJ☆SOLの活動による具体的な成果などについて紹介する予定です)